

GO GO 農大

2023 8月号

徳島県立農林水産
総合技術支援センター
農業大学校新聞

農業法人バスツアー

8月17日、1年次生が将来の就職活動の参考とするため、県内の農業法人を見学しました。

貞光食糧工業では、2班に分かれて鶏肉加工場を視察しました。自社の加工場で屠殺から食品加工まで行う全国的に見ても珍しい会社であり、学生達は、鶏肉から唐揚げ、ミートボール等の調理工程を見学しました。その後、貞光ゆうゆう館にて会社概要の説明を受けました。

2社目の(有)細川農園は、鴨島町にて多品目を組み合わせて、経営を行っている県内有数の農業法人です。本校卒業生も当社にて勤務しており、元氣にときばきと作業をこなす姿を先輩達に見せてくれました。代表者の細川さんからは、「仕事では気がきく人やる気のある人、周りを見て行動することが大事。そんな人材を求めている。大変なのは当たり前。それを乗り越えていかないとどんな仕事でも続かない。」と就職就農にあたる心構えを教えてくださいました。

学生達にとって将来の就職先について考える機会となりました。



農大祭の準備開始

11月に開催される農業大学校最大のイベント「農大祭」に向けた農作物の作付けが8月から本格的に始まりました。コロナ禍で、変則的な内容が続いた農大祭ですが、今年は、2日間の予定で内容をより充実させて開催する計画です。

シルバーマルチを張り準備していた畝に、2年生が中心となって大きさが数cm程度とまだ小さな葉のプロットコリー、キャベツ、ハクサイなどの苗を丁寧に定植しました。普段は野菜や果樹など品目別の担当で分かれ、それぞれ実習を行っています。その担当の垣根を越えて合同で準備をしています。

農大祭にたくさんの野菜や果物を

出品するのが楽しみです。



種まき



水やり



ほ場に植付け

就職活動2023



令和5年度も5ヶ月が過ぎ、就職活動は佳境に入っています。学生たちは日々の学業に打ち込みながら、進路希望の実現に向け放課後や休日を活用し就職活動に取り組んでいます。会社

説明会やインターンへ参加し企業研究をするともに、自己分析を行い履歴書作成や面接対策を行っています。この就職戦線を勝ち抜くためにはやるべきことがたくさんあります。特に大事なものは「目標」を持つことです。将来はこんな人材になりたいとか、こんな仕事をしたいといった具体的な目標を持つことが大事です。就職することが目的ではなく、将来の「目標」を達成することが目的なのです。企業も「目標」のある人物を求めています。なぜなら、目標達成のために意欲的、積極的に仕事に打ち込むからです。最後に、就職試験を終えた学生からのメッセージを紹介します。

・積極的に会社訪問やインターンに参加して顔を覚えてもらう。
・面接はもちろんSPI(適性検査)や小論文の練習をしっかりとする。
・見学や試験のときに社員の方とにかく元氣なあいさつをする。
・入社して自分何ができるかを明確にしておく。
・アピールになる。
・普段の実習で課題を探して解決のためにどうすれば良いかを常に考える。

